

# 青推協だより



回 覧

No. 6 6

発行日 令和元年11月  
発行者 豊田市青少年健全育成推進協議会  
豊田市西町3丁目60番地  
豊田市子ども部次世代育成課内  
Tel. (0565)34-6630

## 少年の主張（愛知県大会に出場しました）

令和元年度少年の主張 愛知県大会が8月23日（金）に犬山市民文化会館で開催され、豊田市から2名が出場しました。

豊田市代表の井郷中学校3年平松真依さんは最優秀賞と共感賞、益富中学校3年今井奈那美さんは優秀賞を受賞することができました。

### 【これまでの経緯】

- ◆6月8日（土）豊田市民文化会館  
豊田市中学生の主張発表大会の優秀賞5名を推薦
- ◆6月28日（金）西三河地区作文審査会にて愛知県大会代表を決定
- ◆8月23日（金）少年の主張 愛知県大会 開催  
（発表者14名のうち豊田市から2名出場）  
☆井郷中学校 平松真依さん 「前向きに生きる」 最優秀賞、共感賞  
☆益富中学校 今井奈那美さん 「考え方一つで」 優秀賞  
※賞の内訳：最優秀賞（1名）、優秀賞（4名）、共感賞（1名）、奨励賞（発表者全員）

## 産業フェスタにおける啓発活動

8月24日（土）の産業フェスタ（豊田スタジアム）にて、青少年健全育成推進協議会の活動や青推協スローガン「話してつなごう家族のわ」の啓発活動を行い、啓発品を配布しました。

当日は多くの方にご来場いただき、ミニゲームや青推協スローガンのイラストパズルで楽しんでもらいました。

また、ブースにご来場いただいた方には、啓発グッズと風船、豊田スマホのルール4か条のチラシを配布しました。



産業フェスタでの啓発活動の様子

## 青推協スローガン 話してつなごう 家族のわ



青推協では、「話してつなごう 家族のわ」というスローガンを掲げています。現代社会では、家族それぞれが仕事や学業に忙しく、みんなで同じ時間や空間を共有することが難しくなっています。

このスローガンは、家族のコミュニケーションの重要性についてあらためて認識し、より一層力強く市民にアピールしたいという思いが込められています。

家庭内において、どんな些細なことでもコミュニケーションを図ることを心がけていきましょう。

# 青少年育成の地区活動

青推協では、各地区における青少年の育成事業を行っています。「話してつながろう 家族のわ」をスローガンに、青少年の健やかな成長とそれを支える地域社会づくりを促進します。

## ☆「観桃会&ほたるウォーク」 猿投地区



猿投北交流館では、地区の自然環境を活かした祭りを開催しています。春には観桃会が開催され、小さなお子さんからお年寄りの方々まで多くの来場者で賑わいました。また、相撲甚句やバイオリンの四重奏などがステージを盛り上げ、途中からチンドン屋も登場して敷地内を練り歩き、大変賑やかな祭りとなりました。

6月上旬には、籠川や加納川沿いでほたるウォークが開催されました。オープニングでは管弦楽の演奏や手品などが披露されました。また、ほたるの折り紙を参加者で折り、ホールがたくさんのほたるで埋め尽くされました。暗くなると川沿いに建てられた竹灯籠の幻想的な光に導かれながら交流館を出発しました。今年は天候不順により、光の少ないほたる観賞をしながらの到着となりました。

## ☆「社会を明るくする運動」 崇化館地区

7月7日(日)「社会を明るくする運動」において、青少年委員会初の試みとして、崇化館中学校ボランティア部に参加してもらいました。役割としては、受付、案内係、啓発品の配布等でした。最初は戸惑いもありましたが、少しずつ仕事を理解して、最後まで元気よく頑張ってくれました。約2時間余りでしたが、地域の活動を知ってもらういい機会になったと思います。

これを機にこれからも崇化館中学校ボランティア部と協力して地域の活性化に努めていきたいと思っています。



## ☆「社会を明るくする運動」 若林地区



6月22日(土)に豊田市保護司会と共催で、「社会を明るくする運動」を開催しました。若林地区では、犯罪や非行のない明るい社会づくりには、時代の担い手である子どもたちと地域を繋ぐ場所づくりが重要と考え、小中学生による主張発表を行っています。

発表者の皆さんはそれぞれの経験やその経験から得た気づきについてしっかりとした元気の良い発表をされていました。学校活動発表では、高岡中学校の「吹奏楽演奏」、若林西小学校の「地域学校共働本部の活動報告」、若林東小学校の「和太鼓演奏」を行い、盛大に開催することができました。